

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|---|-------------------|-----------------|
| 科目名 | 環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering Studies) | | |
| ナンバリングコード | R40403 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 環境情報学専攻 / 総合レベル |
| 単位数 | 10 | 配当学年 / 開講期 | 1年 / 通年 |
| 必修・選択区分 | 必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | M522201 | クラス名 | 菅研究室 |
| 担当教員名 | 菅 雅幸 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 特にありません。 指導を受けるときだけでなく、普段から取り組み重要です。しっかりと取り組んでください。 | | |
| 教科書 | 特になし | | |
| 参考文献及び指定図書 | 修士論文に関わる文献等 | | |
| 関連科目 | 環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別演習Ⅱ | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|---|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | 主体的に研究を遂行する。 | | | 20点 |
| 【知識・理解】 | 研究発表用の論文作成。 | | 40点 | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 学会で研究発表を行い、質疑応答に適切に対応することができる。 | | 20点 | |
| 【思考・判断・創造】 | 実現が困難なことに対して粘り強く対応できる。 研究活動全般に対して、異なる視点から判断、微調整することができる。 | | 20点 | |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | |
|---|--|
| 提出する修士論文が適格であると判断できる内容の場合、合格とする。ただし、評価判定については、総合的な判断に基づく。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。 | |

| ○基本情報 | |
|------------------|--|
| 授業の目的 | 修士論文を作成するにあたり、「大都市沿岸域における地域構造の変化に関する研究」テキストを基に、地域分析の意義、手法を学修します。これにより、どのような資料収集、分析ソフトを使って、データ解析を行って行くかの指導を行います。 修士2年次の9月に発表予定の、日本建築学会大会研究発表会の発表に向けて、論文を作成し、3月にその概要投稿を目標とします。翌年の3月に発表予定の日本建築学会九州支部研究発表会の発表に向けて、論文を作成し、12月にその概要投稿を目標とします。 |
| 授業の概要 | 「大都市沿岸域における地域構造の変化に関する研究」の作成方法を学修することによって、研究の方向性を検討して行きます。 |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 「演習形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」 |
| 地域志向科目 | カテゴリーⅢ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 菅 雅幸 本授業の設計に関する実務経験として設計事務所設計業務に従事。 |

| ○その他 |
|------|
| |

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering 授業コード) | M522201 |
|---|------------------------------------|---|---------|
| 学修内容 | | | |
| 1. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 修士論文とはどのような事をして、作成していくのかを調べて予習しておく | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、既往研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 2. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 3. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 4. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 5. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 6. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 7. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 8. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | 環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering 授業コード) | M522201 |
|--|----------------------|---|---------|
| 学修内容 | | | |
| 9. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 10. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 11. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 12. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 13. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 14. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 15. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。 | | | |
| 予習 | 既往研究、調査内容の発表準備を行う。 | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を基にして、研究と調査をすすめておく | | 約2時間 |
| 16. | | | |
| 予習 | | | |
| 復習 | | | |